

笑 門 来 福

しょうもんらいふく

発行日 2024年 5月 1日

発行責任者 園長 倉澤良一

「笑門来福」とは、いつも笑い声が満ち、和気あいあいとした家には、自然と幸福が巡ってくる。また、悲しいことや苦しいことがあっても、希望を失わず朗らかに生きていれば、幸せが訪れるという意味です。

連休明けみんなで元気に過ごしましょう！

桜の花咲く4月に入園・進級し早1ヶ月となります。子どもたちも園生活に慣れてきました。3年目のひなひなルーム（未就園児親子教室）にも親子10組が参加してくれました。まだ増えそうで、とても嬉しいです。

さて、明日の合同引き渡し訓練では、お子様と歩きながら、危険箇所等の確認をお願いいたします。大地震が起きた時の避難のしかたをご家庭で再度ご確認ください。地震後の津波等も考えられますので、すぐに帰宅せず、幼稚園で安全を確認してから行動することをおすすめします。

5月はGW明けから園外保育でお林展望公園に行ったり、真鶴中学校の運動会に参加したりします。子ども達の体調をみながら、体を動かす保育を進めてきますので、ご家庭でも連休中から体調管理をよろしくをお願いいたします。何かありましたら、連絡ノートや電話等でお知らせください。



～教育は人づくり 人づくりはまちづくり まちの未来づくり～
そして、そのすべての基盤は「互いの信頼」

＜教育目標＞「主体性を育む環境づくりと夢中に取り組む園児の育成」

子ども自らが興味や関心をもって環境に関わりながら、多様な経験を重ねていけるようにするために、乳幼児期の発達の特性と一人一人の子どもの実態を踏まえ、保育の環境を計画的に構成することが重要になります。子ども達が主体性をもって取り組むことができるような環境づくりをし、今年度も、一人一人がわくわくした遊びや活動に、夢中になって取り組むことができるように支援していきます。

◎ めざす幼稚園像

- ★環境を通して総合的な指導に取り組む幼稚園
- ★真鶴町一貫教育に向けて取り組む幼稚園
- ★ふるさと教育・英語に親しむ・ICT活用に取り組む幼稚園
- ★小学校教育との円滑な接続を図るために取り組む幼稚園
- ★安全・安心を最優先に、教育環境を整え、地域に開かれた幼稚園

◎ 真鶴町の幼稚園・小学校・中学校の12年間の子どもの育ちの連続性を見据えた土台づくりに取り組んでいきます。

ふるさと教育の推進

毎月「真鶴ふるさとの日」を設定し、真鶴町の地域の自然や人、行事などとふれあうことを進めます。今月は、9日(木)にお林展望公園に行って、園外で遊びます。23日(木)には真鶴中学校運動会に参加して、中学生と交流します。

ICT活用の推進

一昨年度から「マチコミメール」を始めました。今年度も引き続き、欠席などの連絡に活用してください。

「タイムライン」では保育の様子をお伝えしますので、確認後に **いいね！** ボタンをお願いいたします。

